

新型コロナウイルス感染症（COVID-19） ドナー適格性判定基準（2024/8/23 改訂）

詳細	BMH	PBSCH
<p>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）</p>		
<p>■新型コロナウイルス感染症が確定した場合</p> <p>1) 軽症※の場合は回復(完全に症状消失)後、または無症状で新型コロナウイルス検査で陽性になった場合は検査の検体採取日から、骨髄採取・G-CSF 投与・自己血採血・DLI は2週間を経過すれば可。</p> <p>※軽症：いずれにも該当しないもの・肺炎の診断あり・SP02:95%以下になった・酸素投与を受けた</p> <p>2) 1) に該当しない場合、回復(完全に症状消失)後、骨髄採取・G-CSF 投与・自己血採血・DLI は12週間を経過すれば可。</p> <p>■同居者が感染者に該当した場合、1週間以内の採取可否は採取施設判断とする。</p> <p>■重症※と診断された場合、不可。</p> <p>※重症：いずれかに該当するもの・ICU に入室した・人工呼吸器を使用した</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>D</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>D</p>

ドナー適格性判定基準（2024/8/23 改訂）新旧対照表

現行	BM/PB	改訂	BM/PB
<p>■新型コロナウイルス感染症が確定した場合、 1) 無症状で、新型コロナウイルス検査(PCR または抗原検査)で陽性になった場合、検査の検体採取日からG-CSF 投与、自己血採血、DLI は2週間、<u>骨髓採取は4週間を経過すれば可。ただし、最終判断は採取施設判断とする。</u></p> <p>2) 軽症※の場合、回復(完全に症状消失)後、G-CSF 投与、自己血採血、DLI は2週間、<u>骨髓採取は6週間を経過すれば可。ただし、最終判断は採取施設判断とする。</u> ※軽症：いずれにも該当しないもの(略)</p> <p>3) 1) 2) に該当しない場合、回復(完全に症状消失)後、骨髓採取、G-CSF 投与、自己血採血、DLI は1 2週間を経過すれば可。</p> <p>■同居者が感染者に該当した場合、<u>2週間経過すれば可。</u></p> <p>■重症※と診断された場合、不可。 ※重症：いずれかに該当するもの(略)</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>D</p>	<p>■新型コロナウイルス感染症が確定した場合 1) 軽症※の場合は回復(完全に症状消失)後、または無症状で新型コロナウイルス検査で陽性になった場合は検査の検体採取日から、<u>骨髓採取・G-CSF 投与・自己血採血・DLI は2週間を経過すれば可。</u></p> <p>※軽症：いずれにも該当しないもの(略)</p> <p>2) 1) に該当しない場合、回復(完全に症状消失)後、<u>骨髓採取・G-CSF 投与・自己血採血・DLI は1 2週間を経過すれば可。</u></p> <p>■同居者が感染者に該当した場合、<u>1週間以内の採取可否は採取施設判断とする。</u></p> <p>■重症※と診断された場合、不可。 ※重症：いずれかに該当するもの(略)</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>D</p>